

一太郎の文書ファイルを、授業で50インチ程度の大画面テレビなどに効果的に表示する方法

情報部長 岸 浩道

1. はじめに

「一太郎」は、教室での授業にも向いています。「ワード」などがマウスでの使用を前提に作られているのに対して、「一太郎」は、各種のコマンドをキー操作で受け付けているからです。キーの組み合わせを覚えるのは大変だと思われるでしょうが、自分に合った設定が可能ですし、何より、マウス操作とは比較にならないスピード感があります。画面上でマウスカーソルを一切動かさずに操作する快適さとスピードは、他のワープロソフトに勝る部分ではないでしょうか。

また、「一太郎」は、画面表示の設定を自在に行えるため、テレビ画面を黒板のように使用する場合にも、最適ではないかと考えられます。

2. 使いたい場面

このような特長を備えたワープロソフト「一太郎」の効果的な使用には、次のような活動が考えられます。これに活用できるスキルの内容も併記しておきました。

< コンピュータと大画面テレビの活用ができる活動の例 >

(1) 説明文の読み取り

⇒ 指示語の位置や、指し示す部分に文字飾り(書式)を施して見やすくする。

(2) 説明文の要約

⇒ 不必要な部分の「字消し」表示や、文の削除・挿入など、授業中にリアルタイム編集を行う。

・ 太字やイタリック

例 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

(操作キーは標準) 太字 = Bold (Ctrl + "B") イタリック = Italic (Ctrl + "I")

・ 各種アンダーライン(色つき可) 例 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

(操作キーは標準) アンダーライン = Underline (Ctrl + "U")

・ 文字の着色

例 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

(操作キーは各自で設定。推奨 = Alt + "C")

・ 文字の反転やその着色

例 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

(操作キーは各自で設定。推奨 = Alt + F5)

・ 各種文字囲い

例 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

(操作キーは各自で設定。推奨 = Alt + "-")

・ 各種字消し線

例 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

(操作キーは各自で設定。推奨 = Alt + "/")

(上記は、複数同時に設定できます。ただし、その手間が掛かることと、表示された内容が読みにくくなることを把握しておいて下さい。)

例： 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

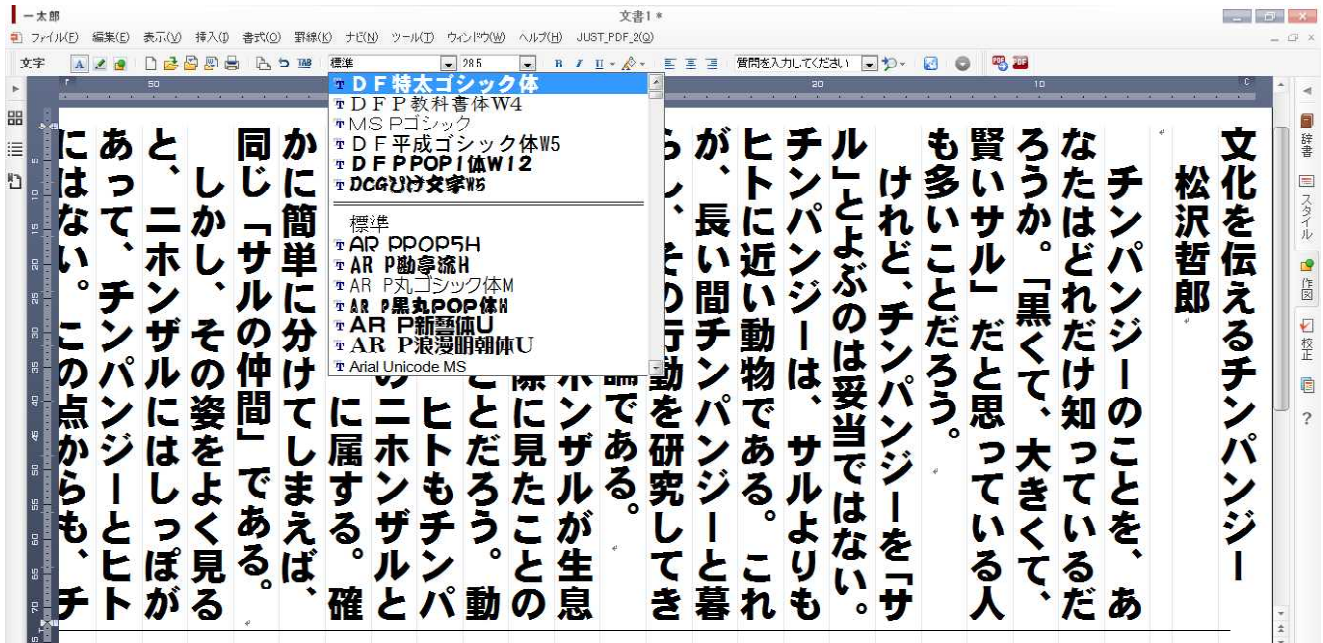
※「操作キー」は、ご自分で設定できるものですが、意味合いの分かりやすいものを選定してあります。これらの設定方法については、「キーの割り付け」の項をご参照ください。

※設定された書式は、他の部分にその書式のコピーをすることができます。また、いったん設定した書式を取り消すには、何も設定されていない部分の書式をコピーするのが近道です。

3. 一太郎の設定

(1) 大画面で表示したい文書をコンピュータ上で編集します。

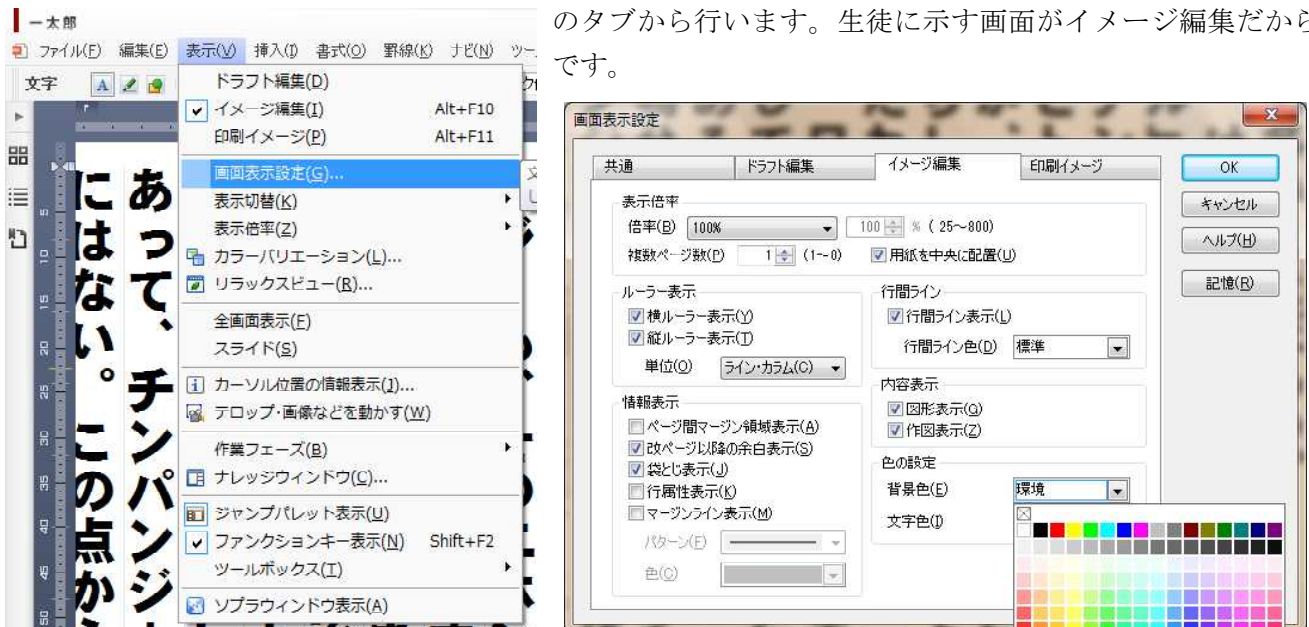
- ・教室の一番後ろの席からも十分に見えるように、一行の文字数は15字以内としましょう。フォントも「ゴシック」などを選ぶとよいでしょう。
- ・文字サイズの変更は、「範囲指定」の後、「Ctrl + ↑」（サイズアップ）、「範囲指定」→「Ctrl + ↓」（サイズダウン）が効率的です。また、全体を指定するには、「Ctrl + A」が最も早い方法です。



(太く、しっかりした書体は、教室の後ろの生徒にもアピールします。)

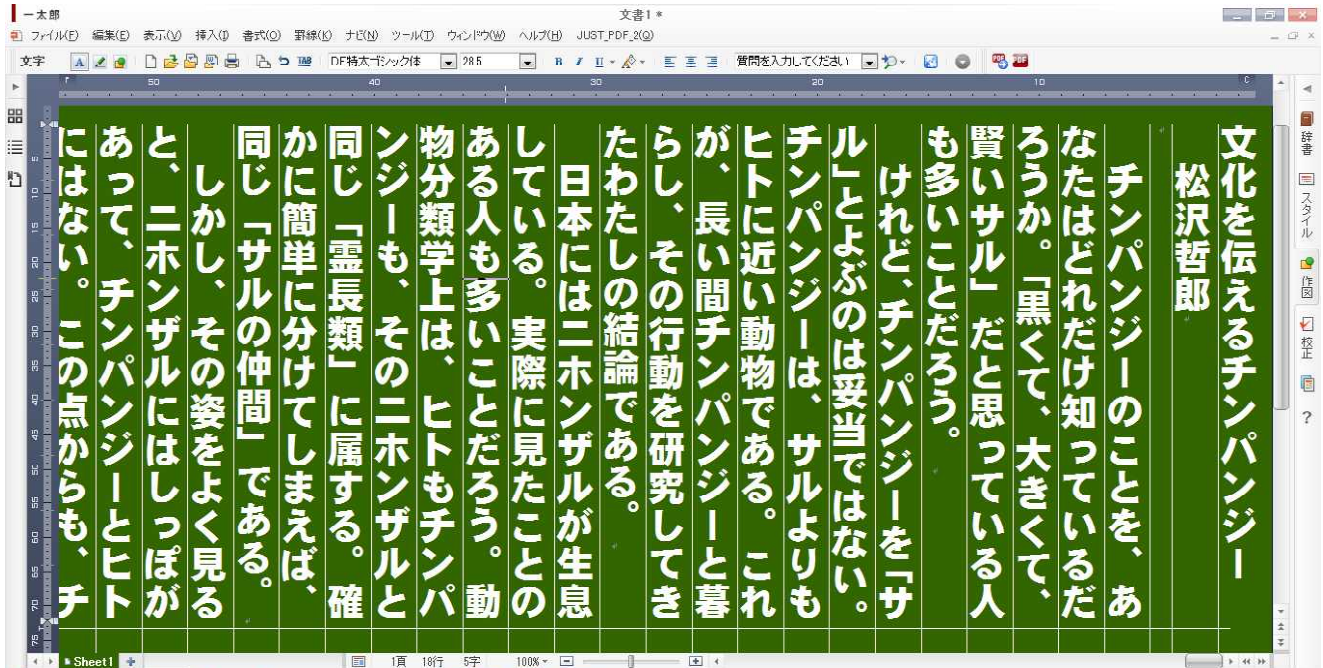
- ・背景の色を、教室環境にふさわしく、「緑」に変更すると、目がちらちらしない、見やすい表示ができます。この設定は、「表示」メニューから、「画面表示設定」を選択して行います。「イメージ編集」

のタブから行います。生徒に示す画面がイメージ編集だからです。



(「イメージ編集」の表示の仕方を変えます。背景色は、ここでのみ、変更できます)

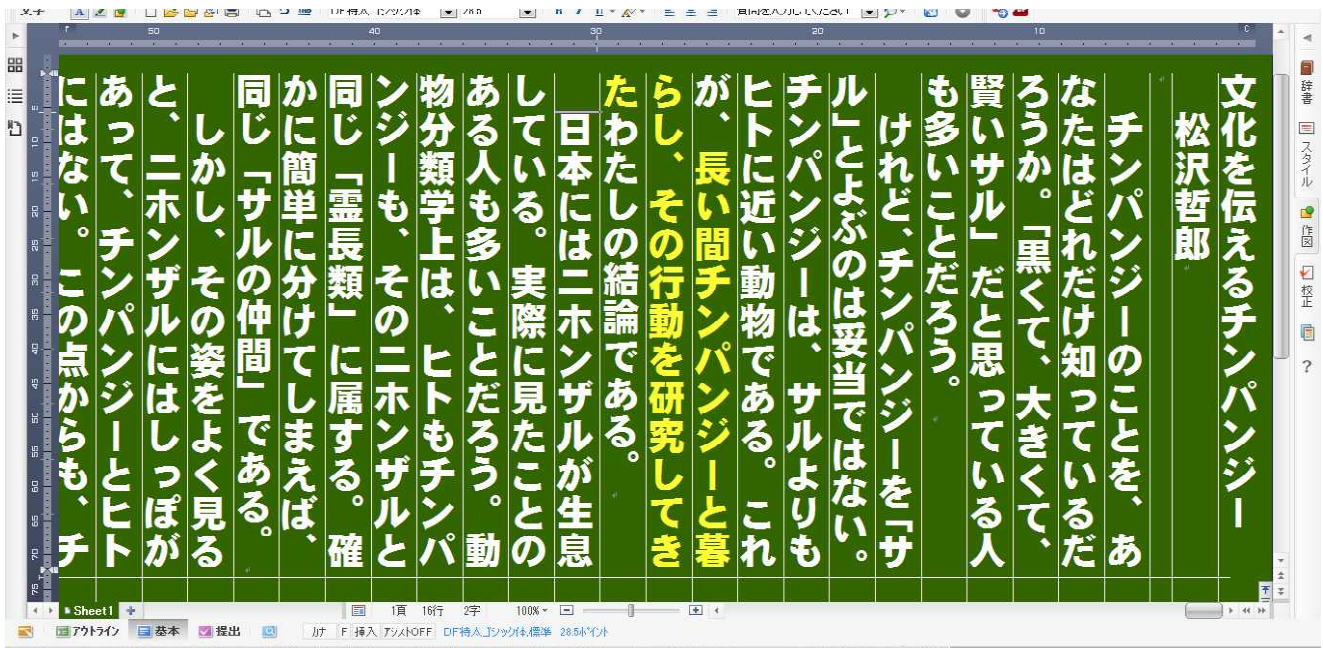
- ・文字の色には「白」を選ぶと良いでしょう。チョークの色が白だからです。教室での使用を考え、生徒の目に優しい配色をするのも大切なことです。なお、ここで選んだ色が標準の色となりますが、文字の色は、後からでも、通常の編集画面から選び直すことができます。



白に設定した文字色



範囲指定をして、文字の色を変えます。(マウスではやや煩雑です)

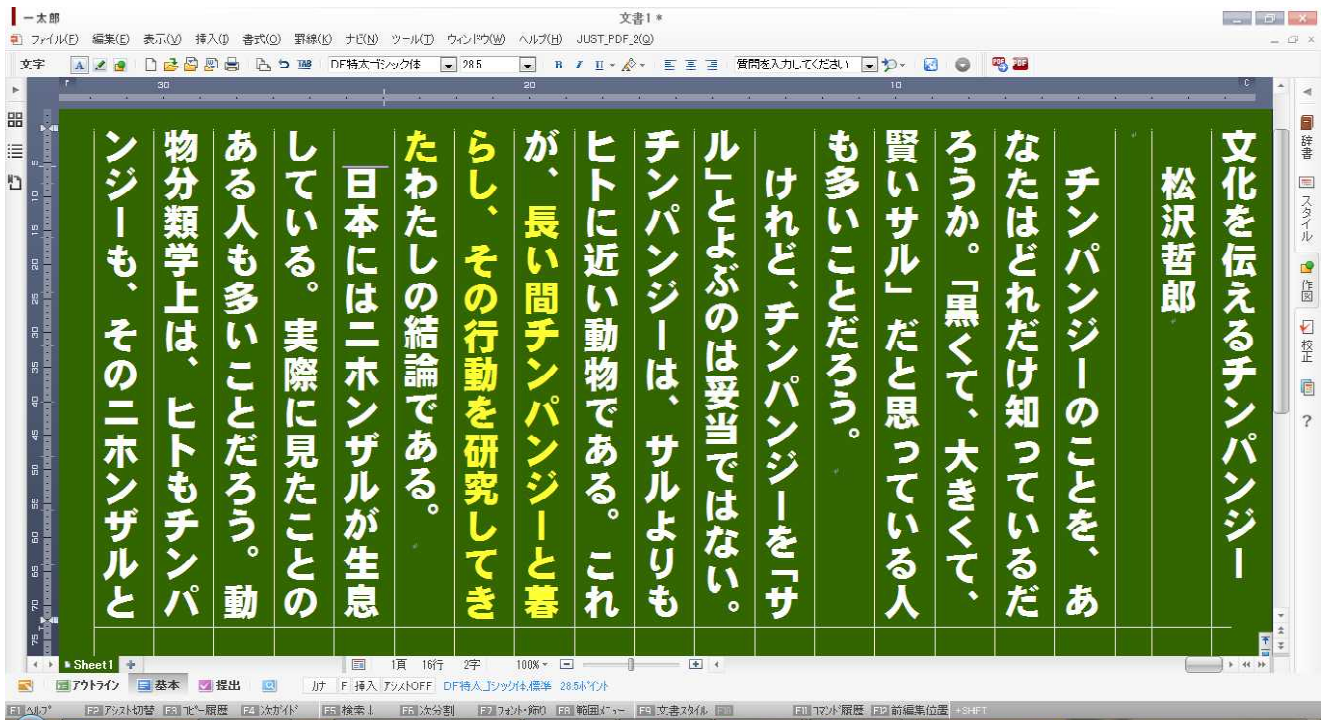


黄色に変更された文字は、際立って見えます。

- ・行間は、あまり詰めすぎてはいけません。文書スタイルの調整に入るには、「F 9」のキーが便利です。



ここから、「行間」
が変更できます。

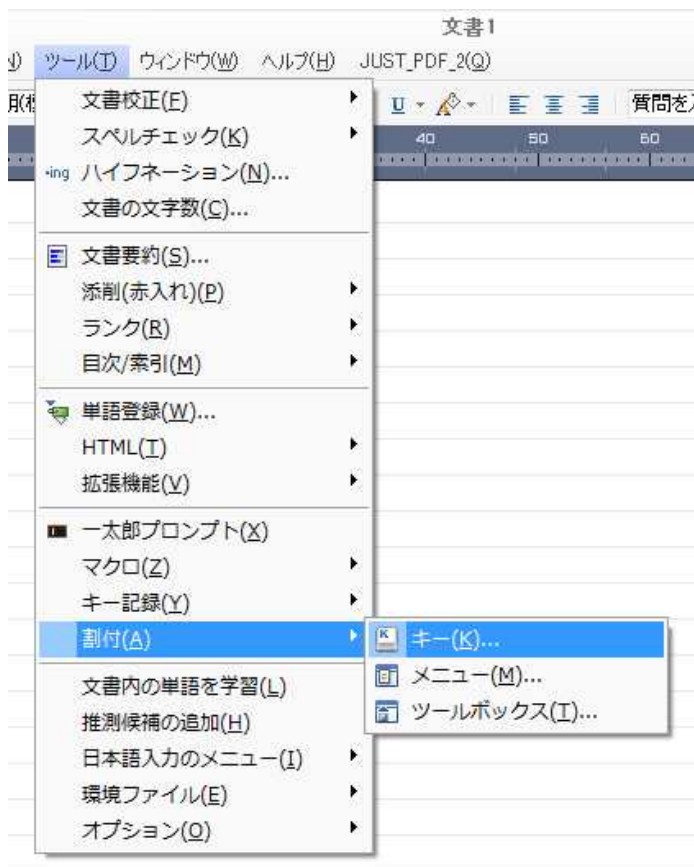


広がった行間。行間の罫線を消すこともできます。

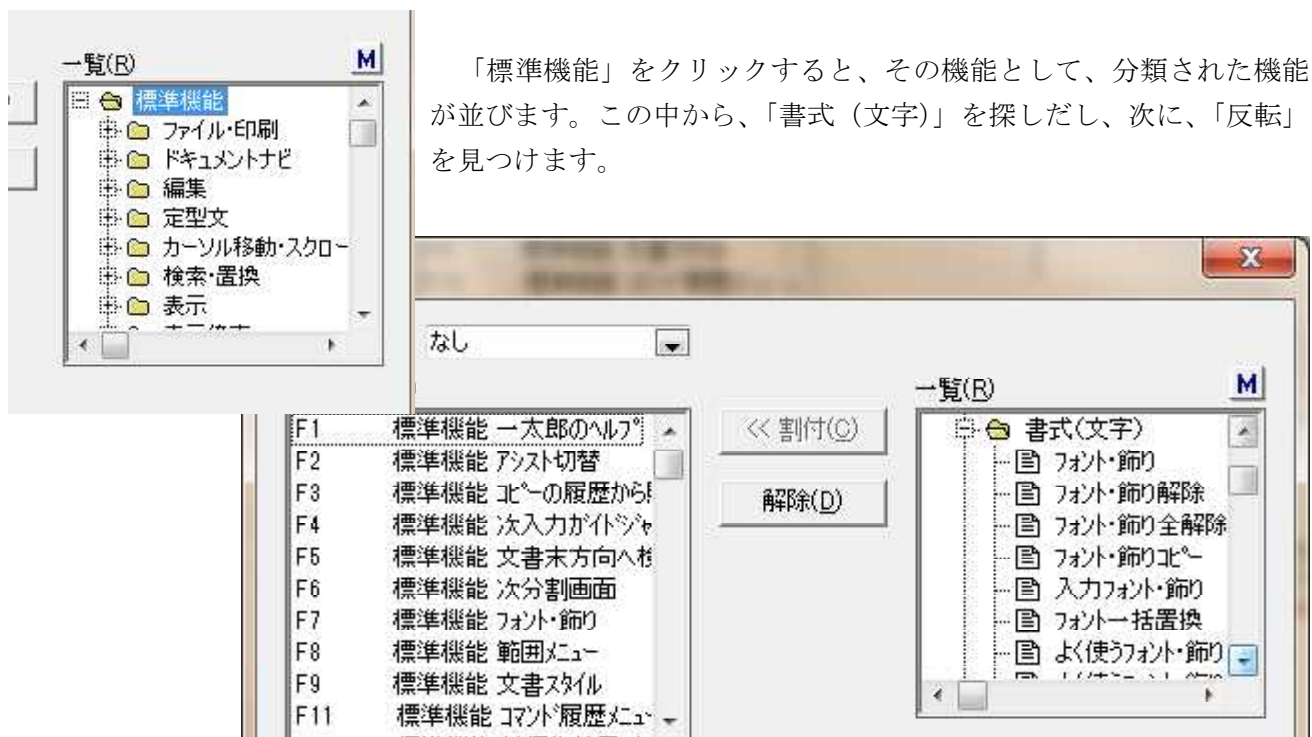
(2) キーの割り付け

各種のコマンドをキーに割り付けておくと、便利でスピードも上がります。ここでは、割り付けの方法をご説明します。

① 一太郎のプルダウンメニューから、「ツール」「割り付け」「キー」と選択していきます。



② 「標準機能」から、設定したい機能を選びます。(ここでは、「文字の反転」で説明します。)



③ 右の窓に表される「反転」をクリックして選択した状態で、左上の「修飾キー」から、「Alt」を、また、「割付先キー」に「F5」を選択します。ここで、「<<割付」のボタンを押し、「OK」をクリックすれば、割り付けは完了です。この直後から、「Alt + F5」が、「反転」のキーとして認識されます。「Alt」や「F5」などのキーは、お好みで設定するのがよいと思われますが、思い出せない設定では意味がありませんので、設定したい機能の単語の頭文字など、思い出しやすいものをお勧めします。

お勧めの設定 (あくまでもお勧めです。情報部長が日頃使っている代表的なコマンドです。)

修飾キー	機能の説明
Alt + F1	ふりがな設定
Alt + F2	均等割付設定
Alt + F3	縦組みの文字列に「21」のような半角横組みの文字を設定する。
Alt + F5	反転設定。色も変えられる。
Alt + F7	フォントの書式のコピー
Alt + F8	画像枠の挿入
Alt + F9	レイアウト枠の挿入。テストの模範解答などに応用がきく。
Alt + F10	イメージ編集の表示に変更
Alt + F11	印刷イメージの表示に変更 (罫線や枠線が見えなくなる。)
Alt + K , W	罫線枠内の色の設定など
Ctrl + [画面の表示サイズを落とす。
Ctrl +]	画面の表示サイズを上げる
Shift + Ctrl + F	左マージンを半コラム右へ移動。段落の2行目以降に試して下さい。
Shift + Ctrl + D	左マージンを半コラム左へ移動。これでテストや紀要の編集が楽になります。
Shift + Ctrl + 3	ナレッジウインドウの表示
Alt + D	指定の文字列を 10 パーセント下に移動
Alt + U	指定の文字列を 10 パーセント上に移動
Alt + "-"	文字囲いの設定
Alt + "/"	字消し線の設定
Alt + C	文字の色の変更
Ctrl + Alt + U	指定の行からの改行を大きくする。
Ctrl + Alt + D	指定の行からの改行を小さくする。
Shift + Ctrl + "-"	指定の文字列の文字間隔を狭くする。
Shift + Ctrl + "+"	指定の文字列の文字間隔を広くする。

※ 設定の方法は、前ページの「反転」の設定に準じます。興味のある方・若い方は、是非お試し下さい。

※ 次ページには、参考として、ウインドウズで使える標準のショートカットキーから、代表的なものを選んでみました。これらの多くは世界共通ということです。また、コンピュータを使う際に、「確実に」を大切になさる方は、是非覚えて下さい。(エクセルなどで痛い思いをした経験のある方も、是非参考になさって下さい。)

キーを組み合わせて、「楽」をしよう

覚えるには、使うことです。使うと、楽です。

便利な「コントロール」キー		(=キーボードの「Ctrl」キー)
Ctrl + A	すべてを選択状態にする。 (例) エクセルで、表の中のすべてを削除したい場合 Ctrl + A、続いて Delete。	All
Ctrl + C	選択部分のコピーを行う。(メモリに入る)	Copy
Ctrl + X	選択部分の切り取り操作	X はさみの形
Ctrl + V	コピー内容をカーソル位置に貼り付ける。(メモリから貼り付ける)	
Ctrl + Z	元の状態に戻す。 戻れる回数はアプリケーションごとに設定されているが、一太郎の場合、初期状態で、50回の取り消しができるようになっている。	Zenkai
Ctrl + D	エクセルでは、上のセルの内容をコピーして貼り付ける。	Down
Ctrl + R	エクセルでは、左のセルの内容をコピーして貼り付ける。	Right
Ctrl + F	多くのアプリで、「検索の実行」 一太郎では、「Ctrl + ^」	Find
Ctrl + H	多くのアプリで、「置換の実行」 一太郎では、「Shift + Ctrl + ^」	Henkan
Ctrl + N	新しいファイルの作成	New
Ctrl + O	ファイルを開く。	Open
Ctrl + P	プリントアウトの設定。 通常は、この後、Enterを押せば、直ちに印刷実行	Print
Ctrl + S	上書き保存	Save
Ctrl + 2	一太郎では、名前をつけて保存	
Ctrl + B	選択部分を太字にする	Bold
Ctrl + U	選択部分にアンダーラインを入れる	Underline
Ctrl + Home	文書の頭へ移動	
Ctrl + End	文書末へ移動	
Ctrl + 1	エクセルでは、セルの書式設定	

4. テレビとコンピュータの接続

(1) テレビとコンピュータの物理的な接続

コンピュータの画像出力端子とテレビとを専用のケーブルで接続します。形状は大体決まっていますが、お使いの機種によって、多少違うことがあります。ふさわしい端子の形状やケーブルの種類については、各学校の情報担当の先生にお尋ねください。(アナログRGBのケーブルがよく使われます。)

(2) テレビとコンピュータの電氣的な接続 (画面をテレビに送る)

コンピュータからテレビに信号を送る際には、キーボードからの操作が一般的です。

(例：「Fn + F7」……ソニー製のコンピュータに多い。「Fn + F11」……富士通製のコンピュータに多い。)

これも、キーボードに象徴的な記号が入っているので、よく分かりますが、不明な場合は、お勤めの学校の情報担当の先生にお尋ねになるとよいでしょう。

(3) 解像度などの調整

うまく映らない場合、信号の送り手と受け手とで伝達に無理が生じていることがあります。解像度もその一つです。よくご存じの先生にお尋ね下さい。

5. テレビの表示設定の変更

(1) デジタルテレビは、縦横の比率が16：9になっています。この比率に一致しないコンピュータの場合は、横に広がったり狭く見えたりします。テレビのリモコンなどで、画面サイズの調整を行っておくとよいでしょう。特に、人物など、写真・図版の表示の際には、ゆがんで表示されます。ご注意ください。

※ このほかにも、教室のテレビでの視聴には、照度や提示する角度、タイミングなど、さまざまの条件が加わることと思います。実際に教室で使ってみることで経験を積んで、より効果的な活用に努めて下さるよう願います。

国語科とコンピュータは縁が遠い存在と思われてきましたが、説明文の指導を初めとして、さまざまな分野での活用が期待できます。できることから初めてみましょう。「なくても済む」というお考えもあらうと思いますが、「知ることでできる新発想」ということもあります。挑戦をしてみたいかがでしょうか。